

開催日時：2002/10/20(SUN) 13:00~16:30

開催場所：小牧勤労センター 2F 中会議室

出席者：川田三千彦、御領親幸、鳥居明夫、米山晃、増井伸裕、牧宏生(順不同)

## 報告書

### 1. 競技会記録報告

次の競技会報告が行われた。

R-8 IMSC ツールド百万石2002

チャンピオンとターマックを併催する場合、アベレージ設定を変えた方が良いのではないかとの意見あり。

DUCKBILL(第4回ラリーセミナー)

看板等をPC(パソコン)の目標物とする場合、指示を細かく行った方が良いのではないかとの意見あり。

(補足)

競技会記録報告の申し送り事項は、主催者が予め把握しておく必要があり、競技会記録報告の伝達方法に工夫が必要。別途検討を行う。

### 2. 来年度カレンダー報告

9/15のカレンダー調整会議で決定した内容を各主催者から報告。

R-8 ……2002年の設定と同じ予定

RTN ……日曜日みのDAYラリー

シロキヤ ……2002年の設定と同じ予定

(補足)

ターマックシリーズがチャンピオンシリーズの付属となっており、速さ勝負になっている。本来の初級者向けという意義が形骸化している為、チャンピオンシリーズとターマックシリーズとの線引きを決める必要がある。

チャンピオンシリーズの競技形態をターマックシリーズに適用するのは避けたい。再来年に向けての議題とする。(ラリーセミナーを見直しターマックシリーズの方向性を探る、等)

### 3. 来年度の規定類作成

共通規則

別紙参照(2003中部共通規則)

車両規定

中部ラリー選手権・チャンピオンシリーズを開催する主催者への申し合わせ事項

(a) 2003年度は選手権対象外(賞典外)クラスを設ける事ができる。

(b) 2003年日本ラリー選手権規定に従った参加車両のみシリーズポイント及び、賞典を与える。2002年以前の規定に従った参加車両はシリーズポイントと賞典は与えない。

シリーズ戦規定

別紙参照(2003シリーズ規定)

4. 来年度 J A F ラリー選手権開催のための課題

異なる車両区分の同一クラスでの混走可否について

中部ラリー選手権、チャンピオンシリーズ、ターマックシリーズは R N、R J、B は同一クラスとする。

(排気量及び、駆動方式にてクラス区分を行い車両区分ではクラス分けしない)

車検方法について

車両重量

・・・コーナーウェイトの購入を検討。

リストラクター

・・・認定ショップでの証明書発行方式を検討。

直視確認方法として内視鏡およびゲージ検査を検討。

車検方法の告示文を作成する(担当: 牧)

5. 2003年度人事

部会長 御領

副部会長 川田 大槻

事務局長 船木

事務局次長 牧

シリーズ事務局 米山

(R - 8、ANDについては現部会長より確認)

6. 予定

第6回 J M R C 中部ラリー専門部会

2002年12月8日(日) 13:00~17:00 小牧勤労センター 中会議室

以上

J M R C 中部ラリー専門部会事務局長 船木 一祥

J M R C 中部ラリー専門部会事務局次長 牧 宏生